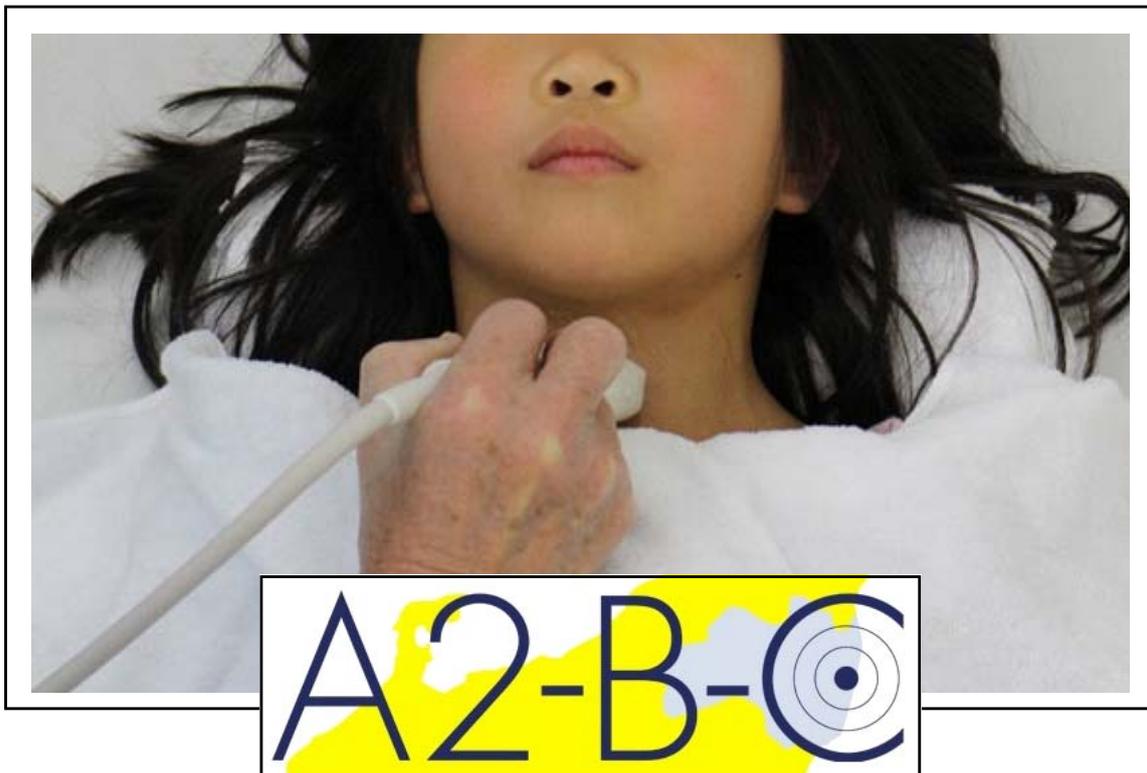


**福島で生きる子どもたちに、今何が起きているのか？**

**「A2-B-C」上映** ゲスト：イアン・トーマス・アッシュ監督

7月5日(土) 1回目上映 16:00～(上映のみ)、2回目上映 18:00～(監督トークあり)  
交流カフェ 19:50～ 会場：谷中の家(東京都台東区谷中3-17-11)



日本在住のアメリカ人監督イアン・トーマス・アッシュが、原発事故後の福島で暮らす子どもたちを取り巻く現実にカメラを向けたドキュメンタリー。原発事故発生11日後から現地に入り、取材を続けるなかで、アッシュ監督は子どもたちに異変が起きていることを知る。甲状腺に小さなしこりなどがある「A2」判定を受けた子どもたち自身の言葉、その親たちの話、校庭や公園、通学路の汚染除去の日常の実態など、テレビでは報道されない福島の厳しい現実と、福島に住む人々の切実な訴えを、カメラは静かに映し出す。果たして、子どもたちの未来は安全なのか？ それでも私たちは、何も起こっていないと見過ごすことができるのか？

(2013年／日本／71分／日本語&英語) 公式ホームページ <http://www.a2-b-c.com/>

※【A2】【B】【C】とは、甲状腺に発生した嚢胞(のうほう)や結節(しこり)の大きさによる判定レベル。

**【プログラム&参加費】** ※予約方法はウラ面をご覧ください

- 16:00～17:15 ■ 1回目上映 → 参加費：1000円(要予約・定員30名) ※受付開始 15:30  
18:00～19:15 ■ 2回目上映 → 参加費：1000円(トーク込・要予約・定員30名) ※受付開始 17:30  
19:15～19:35 イアン・トーマス・アッシュ監督トーク  
19:50～21:00 ■ 交流カフェ → 参加費：500円(軽食+ワンドリンク付・要予約・定員20名)

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場

<http://www.jtgt.info/>

## 監督：イアン・トーマス・アッシュ

1975年生まれ。アメリカ・ニューヨーク州出身。初めて撮った長編ドキュメンタリー「the ballad of vicki and jake」(2006年)が、スイスで開催されるドキュメンタリー映画祭Nyon Visions du Réelでグランプリを受賞。2000年に英語教師として来日して以来、日本滞在歴は13年にも及ぶ。福島第一原発事故以降、福島県内の避難区域周辺で生活する人々を追ったドキュメンタリー「グレーゾーンの中 (In the Grey Zone)」(2012年)がロードアイランド国際映画祭にて新人監督賞&観客賞をダブル受賞。さらに福島の子どもたちを追った本作「A2-B-C」(2013年)でも世界各国で絶賛される。最新作にガンにかかった友人の最期を記録した「Minus1287」(2013年)が控えている。



### ●参考

福島県内の市町村で原発事故当時18歳以下だった子どもたちを対象に実施されている福島県・県民健康管理調査「甲状腺検査」によると、2011~2013年の受診者合計238,785人中、A2(20mm以下の嚢胞や5mm以下の結節を認めたもの)の判定者は102,453人(45.4%)、B判定(5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めたもの。二次検査へ)1,558人(0.7%)、C判定(甲状腺の状態から判定して直ちに二次検査を要するもの)1人と発表されている。

\*参照：福島県HP「県民健康管理調査「甲状腺検査」の実施状況について」

<http://www.pref.fukushima.jp/imu/kenkoukanri/251112siryoku2.pdf>

### ●映画評より

「この映画は、日本だけでなく世界中の人々のために重要な映画です。」

ここに描かれている問題は、国境を越え、地球の全ての住民に関連するものです。」—チェルノブイリ博物館館長

「ひとりの子どもが『ぼくたちはみんなガンになって、若くして死ぬんだ』と言いますが、いったい日本では何が起きているの?と恐ろしくなりました。今だからこそ、この映画をより多くの日本人に見てもらうことがとても重要なのです。私たちが何としても、子どもたちを守らなくては。」—キャサリン・ハムネット(ファッション・デザイナー)

「福島のことに関しては公式発表とは別に現地の事実があります。」

子供の健康の話になると、いうまでもなく事実を知りたいのです。この映画を見れば少なくともその一部は把握できます。

見た方はそれぞれ、住民の生活に影響を及ぼす決断を安心して行政に任せることができるかどうか、判断してください。」

—ピーター・バラカン(音楽評論家、ラジオDJ)

## ■会場：谷中の家(台東区谷中3-17-11)

メトロ千代田線千駄木駅・JR日暮里駅・JR西日暮里駅下車徒歩7分。よ

みせ通り、延命地藏を東へ入る、2筋目を南へ入って東側。

### ■予約方法：以下いずれかの方法で予約してください。

#### 1. 申込みフォーム

- ・1回目上映：<http://kokucheese.com/event/index/185422/>
- ・2回目上映：<http://kokucheese.com/event/index/185424/>
- ・交流カフェ：<http://kokucheese.com/event/index/185426/>

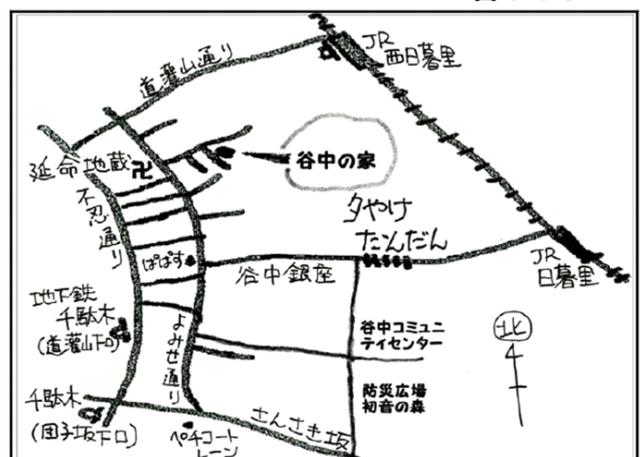
#### 2. メール [tukiichieigasai@jtgt.info](mailto:tukiichieigasai@jtgt.info)

(件名を「月1原発映画祭申込み」として参加者氏名、1回目上映/2回目上映/交流カフェの別を明記してください。)

#### 3. 電話 090-1265-0097(植松)

\*キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください。

### ●谷中の家●



★次回は8月2日(土)です。 \*ひがし広場HP (<http://www.jtgt.info/>) でご案内します